エスディージーズ SDGs

持続可能な社会の実現に向けて

SDGsとは

最近、テレビなどでよく聞くようになった**SDGs（エスディージーズ）**を皆さんはご存じでしょうか。

これは、2015年9月に国連のサミットで決められた国際社会共通の目標です。

この共通の目標は、2030年までに「世界の人々を誰一人取り残さない社会の実現」を目指し、「経済・社会・環境」をめぐる17の開発目標とその下に169の具体的な行動目標を掲げています。

これらの目標は、人類及び地球にとって極めて重要で、2030年までに貧困と飢餓をなくし、人間が尊厳と平等の下に、そして健康な環境の下での共通の理想の実現に向けて社会全体が目指すものです。

ここでは、17の開発目標の中から具体的な例を一つ上げて説明いたします。

13 気候変動に具体的な対策を

開発目標⓭は、「気候変動に具体的な対策を」が掲げられています。

その目標の下には、具体的な行動目標として「気候関連災害に対する強靭性及び適応の能力を強化」、「気候変動対策を政策及び計画に盛り込む」、「気候変動に関する知識と能力の構築」、「気候変動枠組条約の実施」、「計画策定と管理のための能力を向上するメカニズムを推進」の5つが設定されています。

地球温暖化は、大気中の温室効果ガスが増えることで起こり、特に二酸化炭素は、もっとも温暖化への影響が大きいガスで、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第5次評価報告書によると1880～2012年の傾向では、世界平均気温が0・85度上昇しており、このままでは、2100年の平均気温は、温室効果ガスの排出量が最も多い、最悪のシナリオの場合は最大4・8度上昇すると予測されています。

昨今、頻発している異常気象は、地球温暖化によるものが大きいと考えられておりますが、地球環境の問題は、私たちだけでなく、動植物の生態系にも大きく影響しています。

このことから、SDGsでの開発目標⓭の「気候変動に具体的な対策を」は、待ったなしの局面を迎えています。

SDGsは、わかりずらいかもしれませんが、皆さんが日常生活において何気なく行っていることも密接に関係しています。

例えばゴミの減量化やリサイクルの推進も省資源の一役になりますので、一人ひとりが、まずはできることから実行に移すこともSDGsの目標である「持続可能な社会の実現」では、とても重要です。

本町も4月から今後10年間の本町の最上位の計画である第6次蘭越町総合計画が始まります。

総合計画には、様々な施策がSDGsの17の開発目標のどれに該当するのかがわかりやすく分類されていますので、これを機会に是非SDGsに関心を持っていただけると幸いです。

SDGs（Sustainable Development Goals）

100歳到達 おめでとうございます

西川　ウメさん（字立川）

字立川在住の西川ウメさんが、2月20日で100歳を迎えられ、同日、ご自宅において金町長より100歳到達長寿者お祝い状と、花束等が贈呈されました。

西川さんは、「目も遠くまで見えますし、音も聞こえますよ。ただ、あんこが苦手ですね。」と、笑顔で話されました。

これからもお元気でお過ごしください。

長年のご尽力に感謝状贈呈

2月17日、蘭越町民生委員児童委員としてご尽力いただいた、西條美登さん（港町）と田村陽子さん（字共栄）のお二人に、その功績を称え、金町長から感謝状の贈呈と、厚生労働大臣、北海道知事、北海道民生委員児童委員連盟からの感謝状が進達されました。

西條さんは、平成19年からの12年間、田村さんは平成22年からの9年間、民生委員児童委員として、町の社会福祉の増進に寄与されました。

△左から、田村陽子さん、西條美登さん、金町長

蘭越町まちづくり応援大使　斉藤こずゑさんが ご自身のＳＮＳで蘭越町をＰＲ！！

蘭越町まちづくり応援大使の斉藤こずゑさんが２月、パーソナリティをつとめるＨＢＣラジオ「ファイターズＤＥナイト！！」の番組ツアーで沖縄キャンプに行かれました。

名護のキャンプ地近くで行われたトークディナーショーでは、抽選会でらんこし米をお客様にプレゼントし、蘭越町をＰＲ！。

ゲストの解説者の皆さん（大宮龍男さん、新谷博さん、岩本勉さん、森本稀哲さん）にも直接手渡ししてらんこし米をＰＲされたことが、こずゑさんのＳＮＳで紹介されました。